

2018年8月

未完の帝王

公益財団法人 国際通貨研究所
名誉顧問 行天豊雄

相変わらず世界中がトランプに振り回されている。金正恩、プーチンとの首脳会談が行なわれると、世界中のメディアが「してやられた」「失敗だ」と喧しい。高関税の脅しを武器にした世界を相手に繰り広げる米国の赤字削減交渉に対しては、時代遅れの保護主義で世界経済を破壊するヒトラー並みの危険人物だという罵詈雑言の一斉射撃。対ソ接近や NATO 軽視に対しては、自由な民主主義を共有する同盟国を敵に追いやってしまう歴史的愚行という具合である。

実際これ程海外で評判の悪かった米国大統領は歴史上存在しなかったし、にもかかわらず、これ程その言動が世界的な注目を集め、世界情勢に影響を及ぼした大統領もいなかった。トランプが「劇場型」の政治家であることは間違いない。問題はそのパフォーマンスが何を成就し、何を残すかであろう。日本にも今世紀始めに小泉純一郎という劇場型の首相が現れた。彼は日本の政治家としては稀有の才能の持ち主で、郵政民営化に象徴されるような「日本の改革」の歴史的足跡を残した。しかしまことに残念なことに、彼は疲れたと称して、いわば橋頭堡を残しただけで戦線離脱してしまい、日本の改革は未完に終わった。

トランプのパフォーマンスが何を成就するのか現時点では全く判らない。彼の言動が少なくとも他者の眼からすれば予見不能であり、一貫性に欠けることは明らかである。彼の、米国そして世界の将来についての米国大統領としての明快なビジョンが見えないことも事実である。

そういう意味でトランプは米国大統領として、就任一年半経ってもまだ相当に「未完」の状態にあると云うべきなのかもしれない。この一年半のトランプに対する世界の騒々しい毀誉褒貶をふり返ると、この未完の大統領の実像を掴みかねて右往左往する「有識者達」の殆ど滑稽ともいえる姿が印象的である。しかし、最近次第にはっきりしてきたことは、有識者達が少なくともトランプを実在する米国大統領として「真面目に」判断しなければならないと考え始めてきたことだろう。

その大きなきっかけが、何処迄トランプの功績であるかは兎に角、絶好調の米国経済にあることは間違いない。それは 2009 年の中国の四兆元の景気維持策以上の説得力を持っている。経済が一番判り易い政治なのである。それと、解釈はいろいろあるにせよ、

トランプの外交政策が、少なくとも明白な失敗ではなく、次第に成果を生むのかもしれないという雰囲気生まれていることである。その一例が対中国関係だろう。中国の有識者の間で、トランプが意図しているのは世界秩序の創造的破壊であり、中国は習政権の下でいささか功を焦った「行き過ぎ」を犯した。そのためトランプの改革に対して貿易、軍事、イデオロギーの三面で劣勢を強いられているという声があるというのは面白い情報だった。

米国国内でも明らかに空気が変わったのを感じる。素人外交を最も軽蔑するキッシンジャー元国務長官がトランプを評して、「彼は歴史が時として生み出す、時代の終りを告げその見せかけを捨てさせるたぐいの人物かもしれない」と言ったという話を聞いて成程と感じ入った次第である。未完の帝王は本当に何処へ行くのだろうか。

(株式会社マネーパートナーズ ホームページへ寄稿)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2018 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokucho 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話：03-3245-6934 (代) ファックス：03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>